

「第13回ハバナ・ビエンナーレ2019」への若手日本人アーティストの参加

2019年4月15日

キューバでは4月12日から5月12日まで「第13回ハバナ・ビエンナーレ2019」が開催中ですが、これには日本から3人の若いアーティストが参加して活動を展開しています。

彼らは中村奈緒子さん、徳本萌子さん、松橋和也さんで、東京芸術大学の日比野克彦教授が監修する「TURN IN HABANA」というプロジェクトでこの国際文化行事に参加しています。

3人は、3月半ばにキューバ入りし、この国の若手アーティストと組んで旧市街の高齢者施設や小学校などでしめ縄や鯉のぼりの作成などのワークショップを実施、「ハバナ・ビエンナーレ2019」が開幕した4月12日からはプラサ・ビエハとサン・イグナシオにある高齢者施設で鯉のぼりやしめなわの展示を行っています。

同日、藤村大使はこの展示を視察しました。

日本とキューバの外交関係樹立90周年に当たる本年、日本の若いアーティストのこうした活動がハバナで行われるのは大変に意義深く、今後の両国の文化交流の一層の進展につながっていくことが期待されます。

#鯉のぼりとしめ縄のワークショップ（4月20日まで）

- 時間 10:00-12:00
- 場所 Plaza Vieja, Residencia de San Ignacio y Lamparilla







